

いきいきサロン

皆さんからの投稿でつくる、皆さんのページです

投稿募集中

お便り

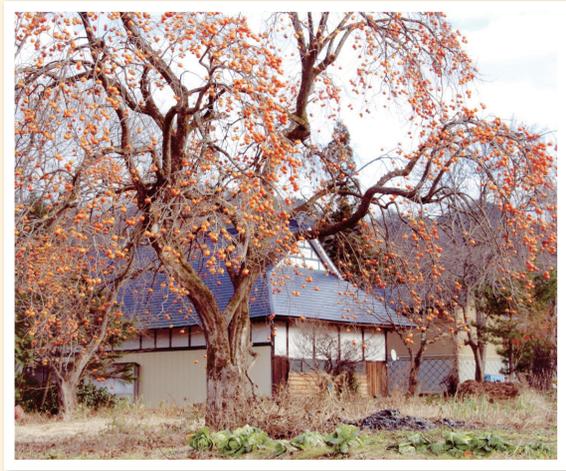
初ひ孫誕生

仙台市若林区 菅原智子(72)

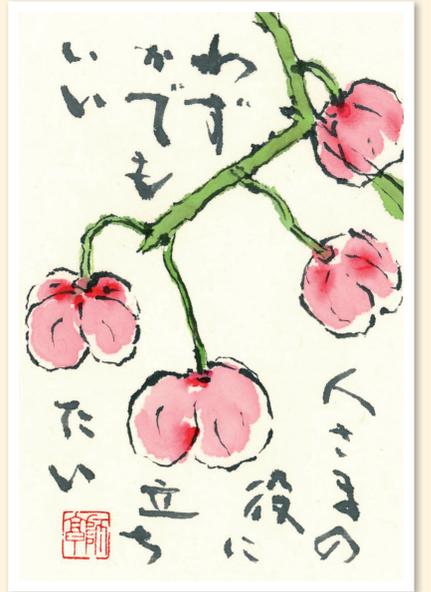
生まれました。初ひ孫の女の子が元氣な産声を上げてくれました。孫娘が職場の方と縁あって結婚、それだけでもうれしいのに、かわいい初ひ孫を抱くことができまし



加美町 板垣篤子(65)



晩秋の残り柿 (山形県米沢市)
名取市 内生宏嗣(75)



富谷町 加川師亨(80)



七ヶ浜町 高野修一(89)

実家(娘宅)へ帰っての出産、1週間で退院、その翌日からひ孫の日に変わる表情、少しずつの成長に感動しながら3週間過ぎました。孫たち3人を手に掛けたことが、ついこの間のよう

に思い出されます。でも、ひ孫は全く別な思い。ムチャクチャかわい。ひ孫、孫娘、そして私のは今年「末(ひつじ)」。これもつれしく幸せなこと感謝です。優しい人になって、と

いう思いを込めて「優」と命名。かわいい笑顔で、みんなを優しく、幸せな気持ちにしてくれる「天使」の笑顔かな。両手いっぱい幸せを握り締め、生まれてきたのであるひ孫。これから幸せな未来があるように、命を大切に、健やかに、賢くも一つ欲張って、美しく祈ります。仕事の都合で親子3人の生活は来年3月から。年末年始はパパの実家で過ごす予定です。ご両親

は、さぞ楽しみにお待ちのことでしょう。今まで元気に、健康に生きてきたご褒美かな。優タン、生まれてきてくれて本当にありがとう。朝になってきたつを見たら、まだ夫が寝ていました。しかも、しっかりと毛布が掛けられていま

布を持ってきたの？」と聞いたら「全然分らない」と言います。よく見ると、その毛布は義母が使っているものでした。認知症がだいぶ進んで

起きて自分の毛布を掛けてあげたのでしょうか。夫のいびきがすごいので、義母は目を覚ましたのだと思います。よく見ればわが息子、寒そうだと思っただけです。でも、本当に重い毛布なんですよ。小柄な義母がよく引く張ってき

たなあと感じるばかり。必死だったと思えますが、母の愛ってすごいなあと思いました。そんな義母も、この冬を越せば100歳になります。認知症は少しずつ進んでいますが、至って元氣です。時々ヘルパーさんに間違われる嫁と、飲ん兵衛息子の3人で日々平凡に生活しています。

日々是好日。私には日本のチベットと呼ばれる岩手の片田舎の出身。新鮮な空気が美しい自然の山々に囲まれ、遠くからこだましてくる小鳥のさえずる声、近くから聞こえてくる虫の鳴く音を聞き入りながら育ちました。

それゆえ、美しい自然と新鮮な空気、環境の良い地を求め、1973年4月にこの地で生活をスタート。それからだいぶ過ぎたある時、市政便りで「泉ヶ岳こみ持ち帰り運動」を知り、趣旨に賛同して会員になりました。泉ヶ岳は仙台市泉区に位置し、奥羽山脈の船形連峰に属します。ミスバシヨウの群生地があり、中腹に沢水の集まる水神とその碑があります。こみ持ち帰り運動では趣旨に賛同した者同士がペアになり、登山者や山菜採りを楽しむ人たちに「こみは持ち帰って」と協力を呼び掛け、私たちもこみを持ち集めました。

入山者には「おはようございます」「ご苦労さま」と声を交わしながら山頂を目指します。疲れて断念しようとした老夫婦がいましたが、励まし合って登ったことが思い出されます。私は60歳で会員を終えましたが、年一回ほど、泉ヶ岳の一番きれいな紅葉の季節に、途中までの散策程度ですが健康の続く限り登っています。